

教えて！検事長



～若手事務官からのインタビュー～

PROFILE



H元年入庁
瀬戸検事長



R 2年入庁
検察事務官 O



R 3年入庁
検察事務官 O



R 3年入庁
検察事務官 M



R 7年入庁
検察事務官 K



普段の業務について教えてください。

※決裁??

組織内で上位者が下位者の提案や申請の可否を決めること！

事件の報告書に疑問点があれば指摘したり、電子**決裁**の確認をしている。研修や会議での講話の内容や、検察官の人事を考えたりもしているよ。📝



検事長がやりがいを感じるのはどんな時ですか？

やっぱり現場にいる時は、起訴や有罪にできたら嬉しかった。決裁官になってくると、一生懸命働いている若手検察官に、指導やアドバイスをし、若手をやる気にさせられたときかな。👊
他にも行政職として立法をやっていたことがあり、一生懸命作った法律が日本全国で適用されるので、その影響の大きさはやりがいになったよ。検察庁以外の自分の知らない世界を知ることができるのは、その後の人生にとって随分役立ったと思った。視野が広がり、楽しかった。



立法では具体的にどんな事をしていたのですか？

※少年審判??

罪を犯した20歳未満の少年等に更生させることを目的とし家庭裁判所が審理すること！

直接担当したのは、少年法の改正が中心で、今は家庭裁判所で**少年審判**をするときに検察官が関与する制度があるけど、当時はそれがなくて議論をしたよ。



※少年院送致??

刑罰ではなく家庭裁判所の判断で、再非行のおそれが強く、社会内での更生が難しい場合に少年院に収容して矯正教育を受けさせること!

他にも、14歳未満は**刑事未成年**だけど警察官に調査をさせる権限を与えるだとか、それにより14歳未満でも**少年院送致**することができるようにする改正をしていたよ。
他には、公務執行妨害罪に罰金刑を創設する立法にも関与していた。



※刑事未成年??

犯罪を犯しても刑事責任は問われない、14歳未満の者!



立法では自分の意見は通ることもありますか?

※法制審議会??

法務大臣から意見を求められて、法律の改正や制定を検討する所!

法制審議会が議論する場で、その審議会に出す叩き台を作ることが法務省の役割。 

法務省内部で議論する時は、我々の意見も言えることになるよ。法制審議会では、先生や学者から質問を受けるから、その想定問答を作っていたよ。聞かれたことをすぐ答えられるようにしていた。どんな事を聞かれるかわからないので、それに備えて答弁書を準備しておくということが楽しかったな。
国会質問でも、様々な質問をされることを考えて、大臣や局長が、パッと答えられるようにしていたよ。そうやって頑張っていると評価されるし面白かった。



それでもやっぱり、思いがけない質問とかも飛んできたりしましたか?

たまに想定してない質問もあり、そういう時は野党とかから「さっさと答えろよ」等言われながら急いでメモに殴り書きをして、それを渡して答えてもらうこともあったよ。



立法の叩き台を提供するのが仕事とお聞きしましたが、どうやって探してきますか?

皆が困っているから立法して欲しいという声が出て、議論を始める。先ほどの少年法については、14歳未満は捜査機関は手を出せないから、全て児童相談所に報告されて、「可哀想な子が来た」で終わりになって、遺族の方が激怒したり、本当にこの子が犯人なのかあやふやなまま事件が終了したりしたこともあったよ。



※身柄??

逮捕され、身体拘束される!

中でも議論になったのは、14歳未満の子の**身柄**をとるかどうか。いろんな人から話を聞いた上、結果的には、児童相談所に置いてもらうなどして警察が聞きに行ける形にして、拘束まではしないという事に決まったよ。 



失敗から学ぶものはたくさんあると思いますが、検事長が若手だった頃、一番失敗したなと思うことはありますか？

※承諾殺人??

被害者本人の承諾を得て、その人を殺害する犯罪！

※法定刑??

それぞれの犯罪に対して法律で定められた刑罰の種類と範囲！

新任明け2年目でいきなり殺人事件を配点されたことがあって、その事件は殺人ではなく**承諾殺人**で起訴することになった。承諾殺人の**法定刑**は7年以下の懲役刑(当時)で、その事件では3~4年くらいの求刑で決裁をもらっていたはずだが、なぜか法廷で最高刑の7年を求刑してしまって、弁護士や上司に怒られたという失敗はあったかな。多分、殺人で起訴できなかったのが悔しかったんだろうな。 

皆さんはきちんと決裁には従ってね。(笑)



法廷で求刑7年って言ってしまったら、決裁と違っていても求刑7年になるんですか？

法廷で修正しますって言えば、修正できるけど、僕は修正しなかったです。(笑)



検察庁には検察官と検察事務官がありますが、一緒に仕事をしていく上で、検察官が検察事務官に求めることがあれば教えてください。

「期待してますから頑張ってください」という応援をしてもらえることかな。検事をやっていて辛いこともあるけど、検察事務官から期待されると、頑張ろうという気持ちになれると思う。 



今まで色々な経験をされていると思いますが、一番印象に残っている事件があれば教えてください。



1つは新任検事の時の女子高生コンクリート詰め殺人事件。僕は、公判に関わったんだ。事件内容が衝撃的で印象に残ってるよ。もう1つは決裁官のときの五輪の金メダリストを起訴した事件。被害者の証言や防犯カメラ映像だけで起訴するのは難しいという空気が流れていたけど、僕は決裁官として、その事件の主任検事と検討して起訴する判断をしたよ。そして公判で5年求刑し、求刑通りの判決を貰えたよ。

そのときの主任検事は現当庁次席の細野検事だった。(笑) 

この2つが特に印象に残ってるかな。





本日は貴重なお話をさせていただき、ありがとうございました。

またいつでも聞きにきて下さい！

